

令和元年度岩手県献血推進協議会 会議録

1 日時

令和元年12月18日（水） 14時～15時30分

2 場所

サンセール盛岡 3階 鳳凰の間

3 出席者

(1) 委員

宮田 剛 会長、松尾 和彦 副会長、鈴木 啓二郎 委員、小原 紀彰 委員
（宇部 眞一 委員代理）、金澤 貴子 委員、佐々木 和延 委員
中居 賢司 委員、宗形 金吉 委員（浦田 和輝 委員代理）、鈴木 浩之 委員
浅沼 千明 委員、佐藤 尚 委員、梶田 佐知子 委員、佐藤 裕昭 委員、
西舘 政美 委員（藤原 哲 委員代理）、若槻 修 委員、柴柳 二郎 委員、
一戸 俊行 委員、松尾 尚人 委員、熊谷 泰樹 委員
（佐藤 了一 委員代理）、佐藤 博 委員（清川 義彦 委員代理）
（欠席委員：鈴木 健二 委員、橋本 良隆 委員、本田 敏秋 委員
梶屋 伸夫 委員、谷藤 学 委員、松田 恵美子 委員
菅原 情子 委員、小原 洋 委員、山本 豊 委員
松原 悠 委員、八重樫 幸治 委員）

(2) 事務局

保健福祉部長 野原 勝、健康国保課総括課長 佐々木 哲
薬務担当課長 千葉 和久、主任主査 田村 剛、技師 小田 哲也
技師 小野寺 甲仁
岩手県赤十字血液センター事業部長 梅野 真和、献血推進課長 乳井 和夫
推進係長 三上 浩二

4 会議の内容

(1) 開会

(2) あいさつ（野原保健福祉部長）

(3) 議事

ア 報告

令和元年度献血推進事業等の概要について（資料No. 1 小野寺技師、菊池献血推進課長が説明）

イ 協議

- ・令和2年度献血目標について（資料No. 2 乳井献血推進課長が説明）
- ・令和2年度岩手県献血推進計画について（資料No. 3 小野寺技師が説明）
2件とも案のとおり承認された。

[質疑応答]

(宮田委員) 現状で、ニーズに関しては横ばいか、やや微減傾向ではあるけれども、目標を上げた理由としては、資料NO.2のP1に記載されていることが理由であるということによろしいか。また、東北ブロックの中で県ごとの割り当てが決まったということだが、今までについては岩手県が他県に委ねている部分もあったということか。

(血液センター 乳井課長) 全血献血に関しては、県内で供給する量は県内で献血するということで、昔から献血事業を行ってきました。しかし、東北ブロックが1つになり、その時から、東北ブロックで必要なものは東北ブロックで採血しましょうということになった。また、生産年齢人口割合で全血献血分を各県に割り当てるということで、岩手県の場合、供給量が若干低めであるため、生産年齢人口割合で計算すると、目標量が若干増えている状況にある。血小板に関しては、血小板は作製するのに時間がかかるということ、また、使用期限が4日と短いこともあり、血小板献血に関しては、製造所に近い宮城県、山形県、福島県の方で採血し、反対に製造所から遠い青森県、秋田県、岩手県では血漿を主に採血することで、それぞれの血液を分担して、東北で必要なものを採血しましょうというようなかたちになっている。